

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		18-	19
事業名	体育施設整備費	会計	款	項	目
		一般	10	6	2
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	スポーツ振興係	
	3-1-4	スポーツの振興			
主要施策	①スポーツ施設の整備充実・有効活用				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	体育施設	目的 (対象がどのような状態になっているか)	スポーツ振興の拠点となる施設の整備・充実を図る。
事業内容	多くの施設・設備等が老朽化しており、軽微な修繕では対応が難しいものが多い。各施設の利用状況及び財政等も合わせ改修あるいは統廃合など検討する必要がある。また、効率的かつ計画的に改修工事等を検討する必要がある。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
指標	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					7,940	13,396	13,115		
財源内訳	直接事業費 A				7,940	12,586	12,257		
	うち一般財源				3,640	12,586	2,557		
人件費(千円) B					0	810	858		
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.12	792	0.13	858
	臨時職員(人・千円)				0	0.01	18		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	施設の老朽化が相当進んでいる。
②H30年度に実施した取り組み	城山テニスコート人工芝改修工事(2面)、城山球場電気設備改修工事の実施。	④今後の改善計画	統廃合等を検討する必要がある。